印西市立西の原中学校

学校だより

発行　令和８年９月２８日　No. ７

〒270-1334
印西市西の原一丁目３番地
TEL　0476-45-0160
FAX　0476-45-0161
特別支援相談窓口・コーディネーター
（教頭・賀集・野々宮）
セクハラ相談窓口
（関口・鈴木美・糸川・森元・教頭）

【学校教育目標】
自ら考え、心豊かにたくましく生きる若者の育成
～常識と良識を持った生徒～

“考える時間を楽しむ”場の充実へ
～お子さんのどのような姿をよく目にするでしょうか～

印西市立西の原中学校
校　長　　加藤　知巳

登下校の指導をしていると、正門付近にある掲示板前に彼岸花が咲くとともに、キンモクセイの甘い香りが漂い、秋の到来を予感させる時期となりました。

学校においては、始業前から応援団練習の声が響きわたり、授業が始まると同時に、実行委員や応援団員の全体を動かすために指示する声や、長縄跳びを練習するチーム全体の統一感のある声などが、校舎内外の至るところから聞こえてくる状況に、生徒の熱量を大いに感じることができ、本番が待ち遠しく思っています。

さて、現在、国において、学習指導要領の改訂に向けて教育課程の改革等について議論を重ねており、私自身も注視しているところです。文科省 HP や新聞等から、キーワードとなる情報が目に入ってきます。その一つに、「主体性」があり、それにまつわる言葉もあふれ出てきている状況です。主体性とは、“自分で考え判断して行動する”ことです。予測困難な時代において、必要不可欠な資質能力であり、その力を身につけさせるための環境をどのようにすればよいか話し合われ、今後学校に求められてくることが予想されます。

この状況を踏まえて、学校としてどのような環境を整えていくことができるか、頭を悩ましています。教員の意識改革は避けて通ることができないことは理解できるものの、子どもたちの意識は変えなければならないのか、子どもたちへのアプローチはどうすればよいのかなど、子どもの観点で考えると難しさを感じています。

私事になってしまいますが、何もすることがないとき、本屋に行くことがあります。最近では、夏休み期間中に出かけました。明確な目的はなく、色々な本のタイトルを確認して、気になったものは前書き等を読んで時間を潰しています。いつもであれば、退屈な時間を無作為的な読書で過ごしたことにより満足し家に戻ります。しかし、この日は私の悩みを一掃するような本と出会うことができました。その本のタイトルは、「生きものは遊んで進化する」です。真っ先に目に留まり、様々思考することになったのは「遊び」という２文字です。この本の趣旨は、“遊べば、進化する“という短絡的なものではなく、遊びの持つ本質が何であるか、それが何をもたらすのか等、というちょっと難しいものでした。しかし、内容の一部で、色々な動物の遊び方や遊びの考え方等については、納得できるところが多く、参考になるところがありました。

ご家庭の中で、お子さんのどのような姿をよく目にするでしょうか。机に向かって勉強している姿であれば、親として大きな心配を抱くことはないでしょう。想像でありますが、スマホを眺めていたり、テレビ画面をみていたりするなどの姿が多くないでしょうか。つまり、デジタル機器にたよった時間の過ごし方をしているのではないでしょうか。そして、最近、お子さんの口から「暇だなあ、何しようかなあ」「今日は、退屈だなあ」などのような言葉を聞いたことがあるでしょうか。

私が中学生のころは、携帯やスマホのようなデジタル機器はなく、テレビやカセットデッキのような電機製品があったぐらいだったと思います。小学生まで遡れば、家にいることが苦痛で、友達と会う約束をして、みんなが集まってから何をするかを考える、つまり時間を潰す方法イコール遊びを見出していました。一方、今の子どもたちは、生活の中に、様々なものが溢れていることにより、不自由することなく、退屈の時間を容易く解消できてしまう環境にあります。また、AI の出現で、時間を潰す方法を簡単に教えてくれたり、架空の人物との会話が可能になったりと一層考えずして楽しい時間を過ごすことができるような時代になってしまいました。さらに、放課後等は、習い事や塾等で、大変忙しく、自由な時間がないのが最近の中学生です。

少し回りくどくなってしまいましたが、昔遊びには、りっぱな道具はありませんでした。その代わりに、時間があり仲間はいました。時間の枠にとらわれず、仲間と知恵を出し合って、そこにある限られたものを使って、徐々に楽しい時間を作り出していったと思います。アナログ的な遊びの中には、参考になる要素がたくさん詰まっているような気がします。最終的に、一冊の本からのヒントより、私の得た結論は、学校であるからこそ、“考える時間を楽しむ”場の充実を図ることです。例えば、キャリア教育の場合、これまでのような「～になりたい」からスタートする調べ学習ではなく、「～をしたい」という課題・問いから始めなければならないと感じています。

現代における子どもの生活環境の変化と社会情勢の急激な変化に伴う必要な力との間に、大きなギャップを感じながらも、主体性が育つ環境を整えていかなければならないと痛感しています。その第一歩として、子どもたちには、考えるための余白の時間が必要であり、教員には、自主性（指示のもと自ら進んで行動すること）を促す指導からの脱却と待つ姿勢（予定どおりに進まない時間やすぐに答えが出ない時間を楽しみ感覚）への意識改革が求められるのではないかと考えています。まだまだ具体的な取組等については乏しいことから、退屈な時間を利用し幅広く考えていきたいと思っています。楽しみながら。

【プラスアルファー】

ご家庭によっては、スマホを見ていることで、イライラされているのではないでしょうか。確かに「使用しない時間帯を決める」などというような方法を伝えることもできると思います。難しいことでありますが、もう少し視点を広くして「本当は、自分は何に時間を使いたいのか。」などというような問いを与え、じっと待つことも方法の一つかもしれません。

【１０月の主な行事】

1日	木	体育祭（予備日） 第４回選挙管理委員会 生徒会選挙運動開始 教育相談アンケート実施
2日	金	英語検定
5日	月	いじめアンケート実施 合唱延長練習開始 20 分延長
6日	火	１年歯科指導 PM 生徒会役員選挙リハーサル 委員会会議
7日	水	専門委員会 印旛郡市駅伝大会
8日	木	生徒会役員選挙 印旛郡市駅伝大会（予備日） 第５回選挙管理委員会
9日	金	前期最終日 通知表配付 生徒会任命式 安全点検
13日	火	後期開始 銀杏祭学年リハーサル
14日	水	３年実力テスト④ 学級優先日
15日	木	３年進路説明会
16日	金	教育相談
19日	月	職員会議・一斉下校
20日	火	教育相談 臨時文化委員会（放課後）
21日	水	学級優先日 臨時文化委員会
22日	木	銀杏祭
23日	金	教育相談 漢字検定
26日	月	教育相談
27日	火	教育相談 １年水泳指導 AM
28日	水	全校評議会
29日	木	学年会議 さわやかハートフルコンサート
30日	金	教育相談